

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】令和4年4月1日(2022.4.1)

【国際公開番号】WO2021/010014  
 【出願番号】特願2021-532700(P2021-532700)

【国際特許分類】

G 0 2 B 3 0 / 1 0 ( 2 0 2 0 . 0 1 )  
 G 0 6 F 3 / 0 4 1 ( 2 0 0 6 . 0 1 )  
 G 0 6 F 3 / 0 4 8 1 5 ( 2 0 2 2 . 0 1 )  
 H 0 4 N 1 3 / 3 0 7 ( 2 0 1 8 . 0 1 )  
 H 0 4 N 1 3 / 3 4 6 ( 2 0 1 8 . 0 1 )  
 H 0 4 N 1 3 / 3 0 2 ( 2 0 1 8 . 0 1 )

10

【 F I 】

G 0 2 B 3 0 / 1 0  
 G 0 6 F 3 / 0 4 1 5 8 0  
 G 0 6 F 3 / 0 4 8 1 1 5 0  
 H 0 4 N 1 3 / 3 0 7  
 H 0 4 N 1 3 / 3 4 6  
 H 0 4 N 1 3 / 3 0 2

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年1月12日(2022.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

外光の一部を反射し、前記外光の一部を透過するミラー表示素子と、  
 前記ミラー表示素子の外表面と反対側に配置されたディスプレイと、  
 前記ミラー表示素子と前記ディスプレイとの間に配置された光学素子アレイと、  
 前記ディスプレイを駆動させる駆動部と、を備える、  
 表示装置。

【請求項2】

前記光学素子アレイは、所定間隔に複数のピンホールが二次元に配列されたピンホールアレイにより構成される、  
 請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

40

前記光学素子アレイは、所定間隔に複数のマイクロレンズが二次元に配列されたマイクロレンズアレイにより構成される、  
 請求項1に記載の表示装置。

【請求項4】

前記ミラー表示素子と前記ディスプレイとの間に配置され、観察者によるタッチ操作又は所定空間におけるホバー操作の操作位置を検知するタッチパネル、を備える、  
 請求項1に記載の表示装置。

【請求項5】

前記ミラー表示素子と前記ディスプレイとの間に配置され、前記外光の反射を抑止する外光反射抑止層と、をさらに備える、

50

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 6】

前記光学素子アレイは、所定間隔に複数のピンホールが二次元に配列されたピンホールアレイにより構成され、

前記外光反射抑止層は、前記ピンホールアレイの前記ミラー表示素子側の面に配置され、前記ミラー表示素子を透過した外光を吸収する黒色光吸収層により構成される、

請求項 5 に記載の表示装置。

【請求項 7】

前記ミラー表示素子と前記ディスプレイとの間に配置され、前記外光の反射を抑止する外光反射抑止層と、をさらに備え、

10

前記外光反射抑止層は、前記ミラー表示素子の前記マイクロレンズアレイ側の面に配置され、前記ミラー表示素子を透過した外光の反射光の成分を遮断する乱反射抑止層により構成される、

請求項 3 に記載の表示装置。

【請求項 8】

前記ディスプレイは、前記ミラー表示素子による鏡像に重畳して表示画像を再現する、  
請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 9】

前記ディスプレイは、複数の画素のうち所定の画素位置の画素を点灯させて前記光学素子アレイを介して出射する光束の向きを制御し、表示対象の物体を表示画像により再現する

20

、  
請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 10】

前記ディスプレイは、観察者の視点において前記ミラー表示素子の外表面の位置又は前記外表面より観察者側の空間において視認される表示画像を再現する、

請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 11】

前記ディスプレイは、前記表示画像として立体像を再現する、  
請求項 8 に記載の表示装置。

30

40

50